

講義の概要

「輝く子どもたちのために今できること」

課題がある子どもたちの身体緊張の緩和（リラクゼーション）による運動習得の効果・成果について

講義①『パラリンピックの出場経験を通して』練習を積んで道内初のパラリンピック出場までの足跡

今夏開催されたリオパラリンピックに道内では初となる水泳界で出場を果たした宮崎 哲選手と長年そのコーチである小野 正之コーチをお招きし、「これまでの練習での苦労やその成果に至るまでのエピソード、パラリンピックへの参加で感じたこと、そしてこれからについて」トーク形式でお話をいただきます。

講義② 「発達障がい者の特性理解と運動の効果・意義」

平成19年4月から特別支援教育が法的に実施されるようになりました。これにより、特別支援教育の場は、特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室、通常学級の4つになり、特に、発達障がいのある児童生徒は、基本的にこの4つの場に在籍することができるようになりました。このことから、水泳指導にとどまらず、様々な場面で指導者は、彼らへの指導を適切にすすめるためにもその特性理解をして指導することはかせない事柄になっています。瀧澤先生は、長らく通級指導教室担当者として、発達障がいのある児童を中心に指導・支援した経験をお持ちで特に運動面によるアプローチの効果とその意義について説明いただきます。

講義③ 「障がいのある児・者の身体緊張に関する実態とその対応」

発達障がいのある児童生徒には、不器用と言われる現象がよく見られます。この背景には、筋の状態が慢性的に緊張していたり、脱力が上手にできなかったり等、共通した課題も多く確認されています。しかし、これらの課題に関して、臨床経験上では気付かれていても、科学的なアプローチが実施されたことの研究報告は多くは見られず、また、見過ごされてきたかもしれません。瀧澤先生は、現在、この課題に関して客観的なデータを収集し、実態解明に取り組んでいっしやり、その研究成果の一部及び重度の知的障がいのある成人男性を対象にした水泳スキル獲得支援について報告していただきます。

講師紹介

宮崎 哲選手 (みやざき さとる) MIYAZAKI SATORU

所属 : あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

練習先 : 北海道青少年会館コンパススイミングスクール

国際大会 (主な記録)

2009年9月東京アジアパラユースゲームス (日本/東京)

100m自由形 1:00.33/1位

2010年8月IPC世界選手権大会 (オランダ/アイントフォーヘン)

200m自由形 2:07.45/6位

2011年8月パンパシフィック水泳選手権大会 (カナダ/エドモントン)

100mバタフライ 1:03.33/2位

200m自由形 2:06.26/3位 200m個人メドレー 2:27.10 5位

100m自由形 0:57.99/3位

400mメドレーリレー 4:17.32/1位日本新記録

2011年 INAS-FID グローバル大会 (イタリア/リグーリア州)

200m 自由形 2:05.86/3位

400m 自由形 4:30.86/4位 日本新記録 100m 自由形 58.70 6位

4×100m フリーリレー 決勝 3:54.24/1位 日本新記録

4×200m フリーリレー 決勝 8:44.86/1位 日本新記録

4×100m メドレーリレー 決勝 4:21.68/1位

2013年 IPC 世界選手権大会 (カナダ/モントリオール)

200m 自由形 2:06.93/8位

2014年 British Para-Swimming International Meet 2014 (イギリス/グラスゴー)

200m 自由形 2:03.97/4位

2014年 インチョン 2014 アジアパラ競技大会 (韓国/インチョン)

200m 自由形 2:05.81/6位

200m 個人メドレー 2:23.73/8位

2015年 2015 IPC Swimming World Championships (イギリス/グラスゴー)

200m 自由形 2:03.93/7位 200m 個人メドレー 2:24.78 18位

2015年 Ecuador 2015 INAS Global (エクアドル)

200m 自由形 2:04.23/3位 4×100m フリーリレー 3:48.25/1位/世界新/アジア新/日本新

2016年1月 2016 INAS Swimming Championship - Asia (タイ/バンコク)

200m 自由形 2:05.30/4位 (予選) 2:05.61/4位 (決勝)

4×200m フリーリレー 8:17.58/1位/世界新/アジア新/日本新

2016年9月 リオ 2016 パラリンピック (リオ・デ・ジャネイロ) 200m 自由形 2:01.39 10位

【表彰】

平成27年度 社会福祉法人札幌市社会福祉協議会 札幌市社会福祉競技会会長表彰 (障がい者の部)
勤続5年

平成27年度 公益財団法人日本障害者スポーツ協会 特別賞 INAS グローバル大会の世界新記録樹立・優勝

平成27年度 一般社団法人日本知的障害者水泳連盟 会長表彰 400m リレー世界新記録樹立

平成27年度 一般社団法人日本知的障害者水泳連盟 会長表彰 800m リレー世界新記録樹立

小野 正之コーチ

日本スイミングクラブ協会北海道支部 会長

北海道青少年会館コンパススイミングスクール ヘッドコーチ

北翔大学 瀧澤 聡 准教授

北海道教育大学を卒業後、1994年～1995年まで国立 Newcastle upon Tyne 大学大学院教育学研究科に留学され修士(教育学)課程、札幌医科大学大学院 保健医療学研究科 博士課程(作業療法学)を終了後、学校法人 ゆかり文化幼稚園教諭、札幌市立小学校通級指導教室教諭(ことば・まなび)として勤務、2014年04月～北翔大学 生涯スポーツ学部スポーツ教育学科准教授(特別支援教育、特別支援教育総論、発達障がいの教育課程及び指導法、教職担当)に就任

【主な活動等】

- ・江別市特別支援教育専門家チーム委員 (2015年～)
- ・学校法人 聖公会北海道学園 有志グループ事例研究会「ぶどうの木」特別支援教育アドバイザー (2014年～)
- ・札幌市発達障がい支援研究会顧問 (2015年～)
- ・日本シェルボーンムーブメント協会役員 (2010～)
- ・北海道特別支援教育学会理事 (2005～)